



普連土学園校友会報

第 **107** 号

令和4年(2022年)7月31日

発行：普連土学園校友会

住所：〒108-0073 東京都港区三田 4-14-16

E-mail：friends@f-koyukai.com

責任者：松浦 栄子

T E L：03-3451-7700

F A X：03-3451-1959



長い間お疲れ様でした

今年の3月、41年間の専任教員としての職務を終え、4月からは非常勤講師として引き続き英語の授業を担当させていただいております。
2月に元学園教頭、谷田貝常夫先生がご逝去されました。私の勤務当初より、先生には一方ならぬお世話になりましたが、その変わらぬ学問への真摯な姿勢、学園の様々な課題への建設的な取り組み、そして常に労をいとわぬ生徒への

ありがとうございました

普連土学園前校長 浜野 能男

目次

総会
新任幹事紹介
浜野先生と行こう！
今の普連土学園へ！
校長室の窓から
谷田貝先生を偲んで

指導など、私が生涯の範とする先生でいらつしゃいました。
谷田貝先生をはじめ、与えられた仕事に真摯に取り組むこと、人への思いやり、奉仕の尊さなど、人が生きていく上での基盤になることを、言葉ではなくその毎日の生き方から教えられた学園にかかわる数々の方々が思い出されます。
振り返れば、自らについては思い出されるのは至らなかつたことばかりです。しかし、毎日の礼拝、授業、大掃除、学園祭、かつては校内で実施していた運動会、真夏の関西への修学旅行、合唱コンクール、卒業式など、学園の生活を思い出すごとに、胸が静かな暖かい思いで満たされる気がします。普連土学園を「言葉では表せない



1986年ごろ剣道部の顧問でした

暖かさのある学校」と保護者の方がおっしゃるのを今まで何度となく耳にしてきました。私もそれがなぜなのか、どうしてなのか言葉では説明できませんが、「人を大切に思い、なすべきことを誠実に、正直に行う。」という人間の基本が、変わらず丁寧に毎日の生活で守られてきたことが、その根本なのでしょう。
自分の生涯の仕事として、この学園で勤めさせていただいたことは、何より幸せであったことと心から思います。至らぬながら多少なりともお役に立てるよう、よりよい授業を目指して努力して行きたいと思えます。

2022年度

校友会総会

5月28日(土)
11時～
● 第一会議室
● 出席者 45名
(内オンライン10名)

総会は対面とオンラインの両方の開催となりました。畠中理事長と青木校長からは今年もビデオメッセージをいただきました。

挨拶 理事長 畠中ルイザ

今年もみなさんに直接お会いできずとも残念ですが、この機会に皆さんに感謝の言葉を申し上げます。卒業生がこの学園を支えて下さっていることは本当に恵まれているといつも思っています。

昨年はコロナにもかかわらず約20カ国の大学生・大学院生が高校生1年生と約1週間英語のプログラムを行いました。その時の費用の一部に「種まきファン্ড」を使わせていただきました。また校友会報に書いたように今年から中学校舎の修理にも使うことを「種まきファン্ড」の目的の一つにさせてもらおうと思っております。今年で中学校舎は54歳です。私よりはまだまだ若いですが私と同じように

あちこち脆いところが出てきていますので修理が必要です。卒業生の皆さんよろしくお願いします。

学事報告 校長 青木 直人

新学期がスタートしましたが、この2年間のコロナ禍を感じさせないほど生徒の生き生きとした雰囲気に戻ってきたように思います。ようやく社会に対する免疫ができてきたのでしょうか。むしろ対面がどんどん活動したいという思いが、一気に出てきているようです。特に中学1年生は学園に来られるのが楽しくて仕方がないという毎日を過ごしており、それが影響したのか他の学年もとても明るい雰囲気になってきています。このままコロナが収束していけばよいのですが、そうでなかったとしても、生徒の活動をできるだけ制限せずに進めていこうと考えています。ただし後援会や校友会の活動には制限を加えざるを得ないこともありますので、ご容赦ください。

礼拝

会長 松浦 栄子

讚美歌 517番

(1番・3番)

聖書

「ローマの信徒への手紙」

第10章8節



事務会議事

司会 副会長 浅見 裕子

2021年度年次報告

副会長 浅見 裕子

・総会 6月5日

オンラインのみで開催

・バザー

開催中止

・クリスマス礼拝

開催中止

・出版「会報」105号・106号

・お祝い贈呈

4月 新入生 校章入りタオル

9月 傘寿祝い 絵葉書セット

3月 卒業生 小楸紗

2021年度会計決算報告

会計 廣田 雅子

2021年度会計監査報告

会計監査 辻 あき江

2022年度年次計画

副会長 浅見 裕子

・総会 5月28日

対面とオンラインで開催

・ミニバザー 11月12日予定

・クリスマス礼拝 12月3日

・出版「会報」107号・108号

・お祝い贈呈

4月 新入生 (135回生)

校章入りタオル

9月 傘寿祝い (67回生)

絵葉書セット

3月 卒業生 (130回生)

小楸紗

2022年度会計予算

会計 廣田 雅子

役員改選指名委員長 富山 恵子

(新任) 書記 片倉三絵子

(新任) 監事 石川 文子

(退任) 書記 押尾 雅代

(退任) 監事 熊澤勢以子

指名委員交代 会長 松浦 栄子

(新任) 校篠 和子

(新任) 齊藤知恵子

(新任) 橋本美佐子

(退任) 小森 玲枝

(退任) 兵庫 道

(退任) 勝田 公恵

委員会紹介 会長 松浦 栄子

同好会紹介 会長 松浦 栄子

普連土学園校友会2021年度収支決算書

(2021年4月1日～2022年3月31日)

■収入の部		(単位:円)	
科目	予算金額	決算金額	備考
在校生会費収入	4,560,000	4,444,000	高校生校友会会費(370.3名)
卒業生運営費収入	5,000,000	5,227,000	校友生納入分(2,500円×2,090口, 2,000円×1口)
バザー収益	0	0	
奉仕活動協力金収入	100,000	9,290	幹事会時献金 他
クリスマス献金収入	0	0	クリスマス献金
付金収入	0	0	
寄附収入	0	7,000	タオル、絵ハガキ代
雑受	0	44	預金利息
取利息	50		
収入計	9,660,050	9,687,334	
■支出の部		(単位:円)	
科目	予算金額	決算金額	備考
総会費	50,000	66,629	総会ハガキ送付費
諸人会費	50,000	24,382	幹事会お茶菓子代 他
委員会活動費	1,200,000	741,315	事務手当 他
ホームカミング費	100,000	44,861	
通信費	0	0	
印刷費	2,300,000	1,440,267	会報105号、106号他
消耗品費	900,000	807,113	会報105号、106号他
光熱水費	500,000	362,868	PC買替代金、事務用品 他
通話料	360,000	360,000	
電文料	400,000	135,820	
電話料	300,000	215,388	電話、FAX通信料、ネット回線使用料
支那連絡費	500,000	354,980	卒業祝、お悔やみ花カード 他
クリスマス礼拝	80,000	80,000	関西支部
奉仕活動費	150,000	50,000	クリスマス献金
学園宗務委員会への献金	200,000	200,000	女性の家ヘルプ、CFJ
同好会補助費	0	0	
支払手数料	60,000	0	
リース料	300,000	354,425	運営費の振込手数料
雑費	650,000	671,037	機器リース及び保守代
基本積立	20,000	24,250	PC液晶修理代 他
特別積立	1,000,000	1,000,000	
奨学金積立	2,000,000	2,000,000	
準備	0	0	
支出計	11,600,000	8,883,335	
差引額(収入-支出)	△1,939,950	803,999	
前年度繰越金	5,548,321	5,548,321	
次年度繰越金	3,608,371	6,352,320	

会計監査の結果、適正であることをご報告いたします。
2022年4月12日 監事 辻 あき江 印
熊 澤 勢以子 印

普連土学園校友会2022年度予算書

(2022年4月1日～2023年3月31日)

■収入の部		(単位:円)	
科目	予算金額	備考	
在校生会費収入	4,476,000	高校生校友会会費 373名	
卒業生運営費収入	5,000,000	校友生納入分 2,500円× 2,000口	
バザー収益	200,000		
奉仕活動協力金収入	50,000	幹事会時献金 他	
クリスマス献金収入	0		
付金収入	0		
寄附収入	0	タオル・コピー・タックシール・施設使用料 他	
雑受	0		
取利息	50	預金利息	
収入計	9,726,050		
前年度繰越金	6,352,320		
合計	16,078,370		
■支出の部		(単位:円)	
科目	予算金額	備考	
総会費	100,000	会場設営費 他	
諸人会費	100,000	幹事会お茶菓子代 他	
委員会活動費	1,200,000	事務手当 他	
ホームカミング費	150,000		
通信費	0		
印刷費	2,000,000	会報107号-108号、幹事会-総会連絡費 他	
消耗品費	900,000	会報107号-108号、総会案内 他	
光熱水費	200,000	事務用品 他	
通話料	360,000		
電文料	400,000		
電話料	300,000	電話、FAX通信料、ネット回線使用料	
支那連絡費	500,000	卒業祝、お悔やみ花カード 他	
クリスマス礼拝	60,000	関西支部	
奉仕活動費	150,000	お花代、親睦会費用、講師謝礼 他	
学園宗務委員会への献金	200,000	女性の家ヘルプ、CFJ	
同好会補助費	0		
支払手数料	110,000	運営費の振込手数料 他	
リース料	400,000	機器リース及び保守代	
基本積立	700,000		
特別積立	20,000		
奨学金積立	1,000,000		
準備	2,000,000		
支出計	11,300,000		
次年度繰越金	4,778,370		
合計	16,078,370		

2021年度特別会計決算書

(2021年4月1日～2022年3月31日)

収入		支出	
科目	金額	科目	金額
●基本金積立(校友会積立金)			
前年度繰越金	25,575,478		
経常費より	1,000,000		
利息	215	次年度繰越金	26,575,693
合計	26,575,693	合計	26,575,693
●特別積立(学園への寄付金積立)			
前年度繰越金	20,480,847		
経常費より	2,000,000		
利息	172	次年度繰越金	22,481,019
合計	22,481,019	合計	22,481,019
●奨学金積立			
前年度繰越金	14,186,744		
奨学金返済	240,000	次年度繰越金	14,426,744
合計	14,426,744	合計	14,426,744

2022年度特別会計収支予算書

(2022年4月1日～2023年3月31日)

収入		支出	
科目	金額	科目	金額
●基本金積立(校友会積立金)			
前年度繰越金	26,575,693		
経常費より	1,000,000		
利息	150	次年度繰越金	27,575,843
合計	27,575,843	合計	27,575,843
●特別積立(学園への寄付金積立)			
前年度繰越金	22,481,019		
経常費より	2,000,000		
利息	100	次年度繰越金	24,481,119
合計	24,481,119	合計	24,481,119
●奨学金積立			
前年度繰越金	14,426,744		
奨学金返済	240,000	次年度繰越金	14,666,744
合計	14,666,744	合計	14,666,744



校友会幹事として、卒業後も学園に関われることを光栄に思います。よろしくお願いたします。
(樋口 あん奈)



コロナ禍でまだまだ活動に制限がありますが、沢山お世話になった普連土学園に少しでも恩返しできるように精一杯頑張ります。
(濱田 悠里)



129回生の幹事として普連土学園のお役に立てるよう、精一杯努めたいと思います。よろしくお願いたします。
(友廣 優華)



普連土のため精一杯頑張ります。よろしくお願いたします。
(佐々木 麻衣)



校友会のお役に立てるよう、精一杯努めさせていただきます。どうぞよろしくお願いたします。
(伊藤 理子)



普連土学園での学びが、大学生活を支えてくれると日々感じます。皆様のお力になれるよう尽力いたします。
(青島 果南)

129 回生

新任幹事紹介!

⑬ 自動販売機

パン、おにぎり、飲み物の自販機。さらには10時までネットで注文すればお弁当が温かいまま配達。お弁当を忘れた生徒に、走って担任がおにぎりを買って行ったのがウソのよう。



行こう!
学園へ!



本校舎

空中渡り廊下

中学校舎

記念館
音楽棟



造ホール

り現名称へ



⑤ 100周年記念館

1980年代にはまだなかった講堂の上、100周年記念館。1階が蔵書4万冊ぐらいの図書館。2階はイングリッシュの先生の英語授業用のフロア「ランゲージセンター」

このたび定年という節目を迎えられた浜野能男先生が、特別に校友生のみなさんのために現在の普連土学園の校舎を案内していただきます（すべてのコメントは浜野先生によるものです。）

卒業以来学園を訪れたことがないみなさんには在校時になかった建物を知っていただき、卒業してまだまもないみなさんにはあらためて校舎を懐かしく思っていただければ…。

学園ツアーは懐かしい正門から始まります。



① 中学校舎

普連土のシンボル、この校舎はもちろん健在。建築基準法の改正により建て直したら同じものは建てられないそう。

② 無人売店

伝統の無人売店はあの棚のまま健在。これは普連土有る限り続くことでしょう。
※2022年3月より本校舎に移設。



③ 渡り廊下

本校舎とはこんな感じで渡り廊下で空中連結。



④ 110周年記念館



講堂に隣接して地下にあります。敷地の地下はみな建物。1学年収容できる音楽室などがあります。

⑫静黙室(本校舎地下)

本校舎地下の、フレンドの会堂の作りに倣った「沈黙の礼拝専用の静黙室」。サウナと呼ぶ生徒あり。

その静黙室の窓ですが、見覚えがありますか？

1980年代頃の図書館の窓を受け継いで使っています。



静黙室入口には、今はなき山中湖寮の八角堂柱を移設し説明を添えてあります。



一緒に写っているのは出版委員です。柱の大きさがわかりますか？



⑪ローズホール

2006年に命名されました

⑩教室(本校舎)

本校舎内の高1ホームルーム。全教室プロジェクターがついて、現在授業はPower Pointで映写。今の生徒は私の板書解説の苦勞はありません。ただ、机といすは伝統を守って木製です。



⑨本校舎(旧第一特別校舎・小ホール)

約18年前に建ったメインビルディングの本校舎。左が「一特」跡(注)、新たな理科や家庭科の実験実習室。右は旧図書館跡に地下1階、地上4階で建てられた本校舎。高1・2のホームルーム、職員室と地下にローズホールがあります。今は当たり前かもしれませんが、1990年代頃までは高3校舎にかりうじて冷房だったかな…。



⑧高3校舎(旧第二特別校舎)



⑦体育館

体育館も空調完備。



⑥新渡戸稲造(旧講堂)

2006年よ



(注) 本校舎について「一特」跡」という表記がありますが、【一特(第一特別校舎)】が【二特(第二特別校舎)】ができるまでは単に【特別校舎】と呼ばれていました。1956年竣工。
右側は旧図書館跡で1952年【講堂】として竣工。1963年現在の新渡戸稲造ホール【講堂】が出来たことにより【図書館】となり1991年現在の図書館が出来たことにより【小ホール】となりました。



朝、校門に立つ私に、「おはようございます。1年〇組です」と名乗りをあげて登校する新入生四人組。吹き出しそうになりますが、大きな声で挨拶が出来るのは人間として大切な嗜み。聖書の時間も、新入生たちは学ぶことが楽しくて仕方がないといった様子。少し早めに教室に行くと、「先生、腕相撲しよう」と勝負を挑んでくる生徒。他のクラスから戻る私を、壁の陰に隠れて「わっ！」とおどかさうとする生徒たち。感染症騒ぎでひたすら忍耐を強いられてきた反動でしょうか。学校再生の秘訣は、そこが、生徒が機嫌良く過ごせる場であることとの内田樹の指摘は至言です。

対面の後援会活動も再開されつつあり、保護者と顔と顔を合わせながら語り合う大切さを再認識すると同時に、この二年で失われたもの

の大きさをも痛感します。教育のあり方が根底から変わるのが当然のことのように煽ったメディアはなんだったのか。ツールが変わっても、学びの本質が変わるはずもないのに。

小林秀雄は『考えるヒント』中の小文「お月見」で指摘します。「意識的なものの考え方が変わっても、意識出来ぬものの感じ方は容易には変らない。いつてしまえば簡単な事のようにだが、年齢を重ねてみて、私には、やっとその事が合点出来たように思う。新しい考え方を学べば、古い考え方は侮蔑できる、古い感じ方を侮蔑すれば、新しい感じ方が得られる、それは無理な事だ、感傷的な考え方だ、とやっとはつきり合点できた。さらには「文化という生き物が、生き育って行く深い理由のうちには、計画的な飛躍や変異には決して堪えられない、何かが在るに違いない」と断じます。教育こそ社会構築の第一歩。

小林の指摘がしきりに想起される



普連土だより 学校近況

百七十八信

新入生133名を迎え、新年度が始まりました。2ヶ月の休校で始まった一昨年、緊急事態宣言下であった昨年とは異なり、通常に近い学園生活を送ることができています。

先日中2遠足・高3修養会出発前の様子を見た中1生徒達が、中2遠足を話題に盛り上がりつつありました。体育祭も、中高別ではありましたが3年ぶりに東京武道館で実施することができました。中3・高2修学旅行も実施します。

通常の学園生活の大切さを改めて実感しています。日々の学園生活を守って行かれるよう励んでいきたいと思えます。

【新任】

☆常勤講師

社会学科 石堂 敬介
音楽科 脇本菜々花
英語科

☆非常勤講師

ブライヤカネラポルティ
数学科 糸 輝雄
数学科 松崎 洋子
理科 磯貝 沙彩
技術家庭科 阿部真理菜

☆常勤職員

英語科 稲垣 智子
事務所 大場かおり
事務所 渡邊 億徳

【異動】

☆常勤講師から専任教諭へ

数学科 大沢 侑祐
理科 相澤 真凜
英語科 外立みどり

☆専任教諭から非常勤講師へ

音楽科 宮田由美子
英語科 浜野 能男

☆常勤職員から嘱託へ

事務所 笹木 洋子

【退職】

☆専任教諭 英語科 石原 史

☆専任職員 事務所 村上 怜美

☆常勤職員 事務所 細山 明子

☆非常勤講師 数学科 加藤 巨輝

数学科 佐藤 思子
社会学科 関口 和正
社会学科 宮武 志郎

音楽科 結東 麻紀
保健体育科 山本 寛子
保健体育科 飯島 雪江

英語科 岩永 孝幸
英語科 直江 寛子

(松浦良知先生記)

谷田貝常夫先生を悼んで

財務理事 大津 光男

今年2月21日、



第6代島崎折江校長の甥で元教頭の谷田貝常夫先生が

90年の生涯を終えられた。

先生は、東大美学美術史料を卒業、服飾品卸売の家業を継いでいたが解散。実務翻訳に従事し、外国人に日本語教育を行ったり『「クエーカーの足跡」英文原稿を翻訳したりもしていた。東洋大学国文科で教員免許取得後、1980年から96年まで国語科教諭、教頭として、定年後も2年間講師となり奉職された。折しも学園創立百周年事業の記念館建築、大学入試改正による小論文指導、情報教育到来に対するコンピュータ導入、少子化対策一環としての高校非募集等々、時代の変革期に際し、自らの経験を活かして率先垂範、現在に至る道を切り拓いた。また、私立中高協会第二支部長としても学園の役割を果たして下さった。

◎校友生からの追悼コメント

・先生は、高校の国語教師というよりも「教養人」という佇まいで、「日本語」の奥深さを教えてくださいました。当時の私はあまり勉強熱心ではなかったのですが、唯一漢字の書き取りだけは気を入れて取り組んでいました。希望の大学の入試に落ちてしまったときに「あんなに漢字が書けるのにねえ」となぐさめ(?)の言葉をかけてくださり、しみみりした気分が一転、思わず吹き出して笑ってしまった思い出があります。

・(オーストラリアから)転校して漢字が全然できなかったので、毎朝漢字を書いて谷田貝先生に提出していました。本当にお世話になりました。落ちこぼれた私を救おうと手を差し伸べて下さった方でした。大変だったけど、ありがたかったです。

・いつもダンディなお姿を思い出して、悲しいです。先生が授業でされる雑談を興味深く聞いていた記憶があります。大人になった今、あのお話が聞けたらどんなに楽し

いことでしょう。

・私たちが高校生の時、既に白髪でダンディなおじさまという感じでした。やちちゃんの小論文講座で書き方のコツを掴めて苦手じゃなくなりました。

・高3の時、谷田貝先生の小論文の個別指導がどうも相性が合わなかったのも、別の新任の先生にお願いしたいと申し出たところ、あの大きな目をカッと更に大きく見開いて、とても悔しそうにされていたのを覚えています。子供ながらちよつと申し訳ないことをしたなあと思ひ出されます。

・高校の3年間、国語の授業でお世話になりました。95回生の卒業式では、謝恩会で尺八を吹いてくださり、みんなで驚いた記憶があります。129回生の娘も3年間息子さんにお世話になり、母娘でご縁を感じました。

・知性・品性を体現したような方でしたね。私が美術史を専攻したのは、先生の影響も多少あったと思います。

・数年前のホームカミングでお会

いできたのが何よりも救いです。谷田貝先生は、私が推薦をいただき大学受験をしなかったことについて「挑戦したらよかったのに」とおっしゃってくださった方でした。

・先生は普連土の歴史にとってもお詳しくだったということ懐かしく思いました。

(89・94・95・99・100・105回生よりのコメントを抜粋にて掲載)

谷田貝先生のご冥福を

心からお祈り申しあげます。



94回生の卒業アルバムよりソフトボール班と



尺八の演奏を披露

このページの内容についてのお問い合わせは、校友会事務局（03-3451-7700）まで。

校友会だより

◆校友会ミニバザー

日時 11月12日(土) 10~12時
場所 普連土学園講堂ホワイエ
今年度は、来校者を校友生に限定したミニバザーとなります。

手芸の会の手作り品、アクセサリー、衣類の販売をいたします。
コロナ禍のため、献品の受付はいたしておりません。



◆校友会クリスマス礼拝

日時 12月3日(土) 11時~
場所 普連土学園 A音楽室
ヴィオラ、

クリスタルボウル奏者の萩原薫さん(93回生)をお招きし、クリスタルボウルの演奏による沈黙の礼拝を行います。
萩原さんは東京藝術大学器楽科卒業、同大学大学院修士課程修了の作曲家、ヴィオラ、クリスタルボウル奏者、セラピストです。



クリスタルボウルとは、シリカとという水晶の粉99.9%で作られている楽器です。コロナ禍でストレスの溜まる今、リラクゼーション効果のあるクリスタルボウルの演奏による沈黙の礼拝にいらっしやいませんか。感染対策として、礼拝後の懇親会は行いません。

どちらの行事もコロナの感染状況により中止もあります。最新情報はホームページでご確認ください。

訃報

謹んでお知らせ申し上げます。心より哀悼の意を表します。

旧職 谷田貝常夫	21・2・21
47 池水 ヒデ(吉沢)	21・10・31
50 関岡 公子(小泉)	20・8・22
52 B 小林まつ江(松波)	20・2・27
53 千田 孝子(木本)	22・4・20
54 村田 逸子	21・9
55 黒部 久子(山田)	21・12・21
56 B 本多 サク	
58 松重 晴子(釣谷)	21・12・4
63 藤沢みずえ(田中)	
63 板橋 京子(堀田)	20・12・31
64 安藤 節子(溝口)	22・3・2
66 亀岡 裕子	22・1・2
66 小宮 朝子	22・4・13
67 水野 充美(森本)	21
69 高橋 照子(東海林)	22・3・13
73 頼 喜久子(森)	22・1・11
75 萩野 順子	22・1・29
80 速水美智子(小泉)	21・8・24
81 赤木まき子(真田)	22・5・9
85 埴 節子(田沼)	21・9・23
86 伊藤 麻里(井門)	21・9・20
101 青木麻理子(根本)	21・9・15

校友会より、お花とお悔やみカードをお送りしました。



◆校友会からのお願い

校友会での今後の運営や事務作業のデジタル化を進めるため、お手伝い(ボランティア)いただける方を募集しています。詳細は事務局までお問い合わせください。

編集後記

コロナ禍による自粛生活もそろそろ元の生活に戻り始め、学園も活気を取り戻してきました。残念なことに今回の計報の中に、2月に谷田貝恒夫先生、4月に評議員、副会長・出版委員として長い間校友会を支えてくださった千田孝子さん、5月に3年前まで副会長として活躍なさった赤木まき子さんのお名前が。皆さま普連土のため熱心にご奉仕くださいました。心からの感謝とともにご冥福をお祈りいたします。
(入江・森本・富山・渡邊・白井・山田・川上)

校友会ホームページはこちら。
校友会報のバックナンバーもご覧いただけます。

